



開校35周年

三小だより



令和7年1月8日 発行

<1月号>

江戸川区立南葛西第三小学校

校長 佐久間 貴広

子供たちが夢中になる空間へ

新年あけましておめでとうございます。昨年中は、本校の教育活動に対して、多大なご支援とご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。皆様におかれましては、新しい年を穏やかに迎えられたことと思います。

夢中力空間へ

ページをめくるたびに、どんどのめり込んでいく
夢中になれるかって、子供が成長する大きな力だと思います
自分らしい生き方を身に付け、自由な夢がもてるように
今年はたくさんの好奇心をプレゼントしませんか

この文は、以前、元日の新聞広告に、ある出版社が掲載した一文です。

学校は、この文にあるように、子供たちが夢中になる空間、場所であるべきなのだと思います。学校は来るたびに、子供たちがどンドン元気になる場所であり、夢中になって勉強し、力いっぱい運動し、友達と遊んだり、時に悩んだり、壁にぶつかったり、でも前を向いて進んでいける場所。そして、将来に向けた夢を育み、自分らしい生き方を身に付けられるような活動がたくさんできる場所でありたいと思います。そのために、今年も、教職員一同、たくさんの好奇心を子供たちにプレゼントできるように、さらに指導力を磨いていきます。

3学期は、子供たちにとって現在の学年を締めくくると同時に、次の学年に向けた大切な準備の期間です。今の学年で身に付けるべきことを確実に身に付け、次の学年でもさらに力を伸ばすことができるよう、支援してまいります。

昨年、本校は開校35周年記念を迎えたため、今年は40周年に向けた後半5年間の始まりです。新たな歴史を築いていくスタートの年となるよう、「夢中力空間」の学校を目指してまいります。保護者・地域の皆様には、引き続き温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

日本道徳教育学会にて研究成果を発表！

昨年度までの3年間、道徳科の授業改善に向けて取り組んできた校内研究の成果等を、昨年11月23、24日の日本道徳教育学会第105回大会（静岡大会）において発表する機会をいただきました。

道徳科の授業で扱う道徳的価値について、自己の価値観や人間の性質など多様な視点から考えることで、自己のよりよい生き方につなげることができるのではないかと仮説の下、授業中の発言や記述と、道徳的理解に基づいた期待する児童の姿を比較した検証結果ついて、研究主任であった池堂正伸教諭が発表しました。

道徳を専門に研究している先生方に、本校の取組を発表するという貴重な機会を得られたことは、本校の教員にとって大変光栄なことであり、自信にもなりました。



～成果を発表する池堂教諭～

【持久走記録会】

体力向上部 小嶋 佑

12月5日(木)、旧江戸川河川敷で持久走記録会を行いました。低学年は700m、中学年は1000m、高学年は1200mを走りました。

土手で、いつもとは違う景色を感じながら、それぞれの子供たちが自分の目標に向けて、胸いっぱい期待と緊張を抱え走り切りました。普段の生活では走ることのない距離を走ったということもあり、苦しい表情を浮かべている場面も見られましたが、ゴールまで走り切った際には達成感と安堵から多くの児童が満面の笑みを浮かべていました。

季節の行事を通して、運動する楽しさや気持ちよさなどを子供たちが感じられるように、今後も指導していきたいと思えます。



【三小 35 周年記念 お祝い本について】

読書推進部 米田 幸治

三小 35 周年のお祝いとして、PTAより全校児童に向けて本を贈呈していただくことになりました。児童が読みたい本を購入していただけるということもあり、児童の喜ぶ声がたくさん聞こえました。今回の贈呈していただくにあたり、5・6年生の図書委員の児童が全校児童を対象にアンケートを作成しました。事前に図書委員で話し合いを行い、どんな質問にしたらよいか意見を出し合い、全校児童に回答してもらいました。アンケート結果からは、流行りの漫画本や絵本、読み物など、幅広い意見がありました。

今後、本が届いたら図書委員の児童が本棚の装飾も行う予定となっています。最後まで図書委員の児童で協力し合い、35周年を盛り上げてほしいと思えます。そして、児童には、これを機にまずは学校図書館に来てたくさんの本に触れることで、ますます本を好きになってもらいたいと思えます。



【1年生 書写 書き初め練習】

1学年 瀧澤 祐子

書写の時間では、1学期から硬筆の練習をしてきました。書写体操という指の体操に始まり、「ぴん、ぴた、ぐー」の歌で書き方の姿勢を確認してから、ひらがな、かたかな、漢字の練習が始まりました。書き順や、「とめ」、「はね」、「曲がり」にも注意をはらって練習に取り組みました。2学期に習う新出漢字も11月には終わりました。

12月の月上旬から新しい学習が始まり、金色の魔法の鉛筆が配られました。それは、書き初め用の4Bの鉛筆です。一人一人名前が書かれてある手本も配られ、最初に自分の名前の練習をしました。緊張しながら一字一字よく見て真剣に書きました。文章の練習では、教員が言う文字に合わせて、間違えないように練習しました。新年の席書会では、練習した成果を発揮してほしいです。

